

平成28年度 基本評価調書

施策名	エゾシカ森林被害対策の推進	所管部局	水産林務部	作成責任者	水産林務部長 小野寺 勝広	施策コード	07	02
		照会先	総務課政策調整G (内28-163)	関係課	森林整備課、道有林課			

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

1 目標等の設定(その1)

総合計画等の位置づけ	総計	大項目(分野)	中項目(政策の柱)	小項目(政策の方向性)	総合計画の指標	
		1	生活・安心	(3) 豊かで優れた自然・生物多様性の保全とその継承	人と自然・生き物が共生する社会づくり	エゾシカ個体数指数
	北海道創生総合戦略		北海道強化計画	B6212	新・北海道ビジョン	C08903
	特定分野別計画等	北海道森林づくり基本計画				
現状と課題	<p>・本道の豊かな自然環境は、優れた観光資源や基幹産業である農林水産業の基盤となっているが、急増したエゾシカなどの野生鳥獣は、農林水産業への被害や人身事故の発生など、大きな脅威となっている。</p> <p>・エゾシカの推定生息数は、緊急対策期間の捕獲対策等により減少に転じ始めているが未だ高い水準にあり、道では「エゾシカ対策推進条例」に基づき、適正な生息水準の早期実現に向けた対策を総合的かつ計画的に推進している。</p> <p>・エゾシカによる森林被害面積は、3年連続で3千ヘクタールを超え、道内全域に拡散していることから、国有林・民有林等の関係機関が被害対策を一体的に実施することが重要である。</p>			施策目標	<p>・エゾシカによる森林被害を軽減するため、防除や捕獲などの対策を加速化させるとともに、国有林と民有林が連携し効果的な森林被害対策に取り組む。</p>	
施策の推進体制 (役割・取組等)	<p>【鳥獣被害対策】 〔道〕庁内関係各課で構成する「鳥獣被害対策チーム」において、鳥獣被害対策の総合的な推進を図っている。</p> <p>【エゾシカ被害対策】 〔国・道〕国有林と民有林が連携し、効果的な森林被害対策に取り組むため「エゾシカ森林被害対策連絡会」を設置し、各種情報の共有や連携可能な取組の調整及び実施を図っている。</p>				施策の予算額	
					H27	25,368
					H28	25,389
H29						
今年度の主な取組	<p>補助事業等を活用し、被害防除対策(忌避剤散布、侵入防止柵設置等)や捕獲対策(銃猟捕獲、ワナ捕獲)を実施する。</p> <p>○効果的な被害対策を進めるため、国有林・試験研究機関による「エゾシカ森林被害対策連絡会」を通じて、国有林と民有林の被害発生情報の一元化、事業計画の情報共有、国・道職員の技術向上研修等を実施する。</p> <p>道有林において、地域と連携したエゾシカ捕獲のための林道除雪と新たに確立した管理型捕獲技術の実施・普及推進を行う。</p>					

Do & Check 施策評価

1 - 2 取組の結果

(1) 主な取組の実績と成果		(関連する計画等)		
		実績と成果等	総合戦略	強靱化
<p>・エゾシカによる森林被害の軽減に向け、市町村、森林組合等で実施する忌避剤散布や侵入防止柵設置などの防除対策への支援を行った。(平成27年度:忌避剤散布121ha、侵入防止柵設置 68km、枝条巻き防除 26ha)</p> <p>また、市町村等で実施する森林内での銃猟捕獲(平成27年度:42頭)や立木を利用した囲いワナ等による捕獲(平成27年度:103頭)への支援を行った。</p> <p>これまでの取組等により、平成26年度の森林被害面積は前年度に比べ減少した。(平成25年度:3,586ha 平成26年度:3,403ha、平成27年度の数値は集計中。)</p>		-	B6212	C08903
<p>・「エゾシカ森林被害対策連絡会」において、国有林と民有林の被害状況をまとめたマップを作成・公表し、防除対策に活用している。また、連絡会において被害防止対策に関する事業計画の情報を共有しているほか、森林被害状況の把握や森林内の捕獲方法に関する技術向上研修を実施(平成27年度:胆振、渡島、十勝総合振興局管内 国・道・市町村職員延べ141名が参加)し、地域で被害対策を担う職員の技術、知識の向上が図られた。</p> <p>これまでの取組等により、平成26年度の森林被害面積は前年度に比べ減少した。(平成25年度:3,586ha 平成26年度:3,403ha、平成27年度の数値は集計中。)</p>		-	B6212	C08903
<p>・道有林において次の取組を実施した。</p> <p>エゾシカ捕獲のための林道除雪延長 H27 40路線 585km、H26 41路線 633km</p> <p>管理型捕獲技術(モバイルカリング)によるエゾシカ捕獲頭数 H27 40頭(道有林釧路・日高管理区)、H26 78頭(道有林釧路・網走東部管理区)</p>		-	B6212	C08903
(2) その他の取組の成果等				
<p>国等提案・要望状況</p>	<p>・エゾシカの森林内での捕獲対策の強化に向け、林道の除雪による捕獲環境整備などへの支援や、既存の侵入防止施設等の機能強化や長寿命化を図るための支援制度充実について、農林水産省へ要望を行った。(平成27年7月22日、平成28年8月)</p>	<p>施策に関する道民ニーズ</p>	<p>・胆振東部地区森林づくり検討会において、参加者(森林所有者)から、エゾシカの被害が増加していることから、国有林と民有林が連携した被害対策が必要との意見があった。(平成27年7月22日)</p> <p>・市町村、森林組合等から、既存のエゾシカ侵入防止施設の機能強化や長寿命化に対する支援の充実が必要との意見があった。</p> <p>・上記意見を参考に、エゾシカ侵入防止施設の機能強化等に対する支援制度の充実について国へ要望するとともに、引き続き「エゾシカ森林被害対策連絡会」を通じ、国有林と民有林の被害発生情報の一元化、捕獲技術向上研修を行うほか、国有林と民有林が連携したエゾシカの協働捕獲事業などの取組を実施することとした。</p>	

平成28年度 基本評価調書

施策名	エゾシカ森林被害対策の推進	施策コード	07	02
-----	---------------	-------	----	----

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

2 連携の状況

2 - 2 連携の取組状況

総合計画の位置付け	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
	環境生活部が設置する鳥獣被害対策チームにおいて、関係各部の鳥獣被害防止対策に係る情報・意見交換に加え、構成員が連携して現地での被害実態調査や道民への情報発信を行うなど、総合的な鳥獣被害対策を推進する。	N0302	環境生活部環境局エゾシカ対策課	<p>・6月に農・林業被害などの情報共有の関係者会議を開催するとともに、農業被害が大きい地域における現地視察やその振興局管内関係者に対する情報提供を行った。また、狩猟を促進するために必要な道有林内の林道除雪をするなど、環境生活部、農政部と連携して対策を推進した。</p> <p>・「エゾシカ森林被害対策連絡会」に環境生活部職員がオブザーバー参加し、被害対策の協議を行うなど、森林被害の防止に関し環境生活部と連携して対策を推進した。</p>
		N0606	農政部生産振興局技術普及課	
	エゾシカ緊急対策本部は、エゾシカの増加を抑制し、深刻な被害を緊急に軽減させる対策を総合的に推進する。	N0302	環境生活部環境局エゾシカ対策課	<p>・環境生活部において、9月に農林業被害状況や新たなエゾシカ管理計画の内容等の情報を共有するための会議を開催することとしており、水産林務部は会議構成員として参画予定。</p>

平成28年度 基本評価調書

施策名	エゾシカ森林被害対策の推進	施策コード	07	02
-----	---------------	-------	----	----

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

3 - 2 成果指標の達成度合

主	主要指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	D	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H5	年度	H28	最終年度	H37					
エゾシカ個体数指数(東部地域)		基準年度	H5	年度	H28	最終年度	H37	達成度合	D	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか ・生息数の減少や捕獲圧の強化により、捕獲効率が低下し、目標に達しなかった。 達成式の算式における基準値は、第4期計画策定時のH24年度における基準値(東部120)を用いる。
		基準値	100	目標値	50.0	最終目標値	25~50	年度	H27	H28	進捗率	
(指標の説明) 基準年の値を100とし、毎年実施する各種調査から得られた結果を基に、東部地域におけるエゾシカの生息動向を相対値で表したものの	根拠計画	増減方向		達成率の算式		目標値	67.5	50.0	50.0	50.0		
		増減方向		達成率の算式		実績値	92.0		92.0			
		増減方向		達成率の算式		達成率	53.3%		54.3%			
		増減方向		達成率の算式								

主	主要指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	D	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H12	年度	H28	最終年度	H37					
エゾシカ個体数指数(西部地域)		基準年度	H12	年度	H28	最終年度	H37	達成度合	D	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか ・生息数の減少や捕獲圧の強化により、捕獲効率が低下し、目標に達しなかった。 達成式の算式における基準値は、第4期計画策定時のH24年度における基準値(西部290)を用いる。
		基準値	100	目標値	200	最終目標値	200以下	年度	H27	H28	進捗率	
(指標の説明) 基準年の値を100とし、毎年実施する各種調査から得られた結果を基に、東部地域におけるエゾシカの生息動向を相対値で表したものの	根拠計画	増減方向		達成率の算式		目標値	222.5	200.0	200.0	200.0		
		増減方向		達成率の算式		実績値	247.0		247.0			
		増減方向		達成率の算式		達成率	63.7%		81.0%			
		増減方向		達成率の算式								

本施策に成果指標を設定できない理由	判定 (直近の達成率(%))	A	B	C	D	-	結果
		100以上	90以上100未満	80以上90未満	80未満	算定不可	
	主要指標				2		課題あり
関連指標							

< 様式5 >

Do & Check 施策評価の一次評価結果(各部局等による評価)

5 一次評価結果

	評価判定	成果指標の全体分析	施策全体に係る分析(具体的成果・連携状況)	判定
主要指標	課題あり	<p>< エゾシカ個体数指数 [D(東部)] [D(西部)] ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生息数の減少や継続的な捕獲圧により、捕獲効率が悪くなり、減少の速度が鈍化しているが、国の事業を活用し、被害防除対策や捕獲対策の取組が進んだことにより、平成26年度の全道の民有林における被害面積は前年度より減少し、事業効果が現れている。 	<p>< 施策全体に対して、漏れなく有効な取組がなされているか ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村、森林組合等による被害防除対策や捕獲対策が進められていること、国有林と民有林が連携し、国有林と民有林の被害発生情報の一元化、事業計画の情報共有、国・道・市町村職員の捕獲技術の向上等の取組が進められていることなど、有効な取組がなされている。 <p>< 施策を推進するに当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・エゾシカ捕獲率の向上に向け、必要な要望を国に対して実施しており、要望に対して国の要領等への反映がされたことで、補助による事業実施が可能となった。 <p>< 施策を推進するに当たり、他の施策・部局と連携した成果を確認できるか ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国有林、民有林、試験研究機関と庁内関係部が連携し、被害対策に係る会議の開催や捕獲技術の研修を行うなど、関係機関と連携した取組がなされている。 <p>< 道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立っているか ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林所有者等からの意見を踏まえ、「エゾシカ森林被害対策連絡会」を通じ、国有林と民有林の被害発生情報の一元化や捕獲技術向上研修の取組を進めるとともに、国有林と民有林の連携によるエゾシカ協働捕獲事業を新たに実施するなど、被害防除対策や捕獲対策の取組を推進している。 	+ 評価
関連指標	-	-		

総合評価	課題等はあるが引き続き推進	評価の概要	指標に改善を要するものがあるが、施策全体に係る分析がプラス評価であることから、評価は「課題等はあるが引き続き推進」とする。
------	---------------	-------	---

次年度に向けての課題と今後の方向性(対応方針)		(関連する計画等)			
方針	課題	方向性	総合戦略	強靱化	ビジョン
	エゾシカによる森林被害面積は減少に転じ始めているが、未だ高い水準にある。このため、今後も「エゾシカ森林被害対策連絡会」等を活用し、国有林と民有林が連携して、より効果的に防除対策や捕獲対策を推進していく。		-	B6212	C08903

施策名	エゾシカ森林被害対策の推進	施策コード	07	02
-----	---------------	-------	----	----

Check 施策評価

6 二次評価結果（知事による評価）

改善意見	[施策目標の達成状況(目標達成に向けてさらなる取組が必要)、施策の緊急性・優先性(新たな課題等への対応が必要)] 目標達成に遅れが見られる「エゾシカ被害対策」の促進に向け、関係部局や市町村、関係団体等の連携により、新たなエゾシカ管理計画に基づく捕獲対策の強化による適正な個体数管理など、より実効性の高い取組となるよう検討すること。
------	--

平成28年度 基本評価調書

施策名	エゾシカ森林被害対策の推進	施策コード	07	02
-----	---------------	-------	----	----

Check 事務事業評価 Action

7 二次評価結果（知事による評価）

整理番号	事務事業名	一次評価(平成29年度の方向性)(再掲)							二次政策評価		主な対応	
		重点点検事項			必要な見直し	予算	サービス	方向性	方向性	二次政策評価意見	方向性	H28二次評価意見への対応
		連携事業(整理番号)	終期なし	推進事項								
07080700	エゾシカ森林被害防止強化対策事業費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	見直し検討(指標関連)	見直し検討		拡充	
07080899	エゾシカによる森林被害の把握					-	継続(現状維持)	見直し検討(指標関連)	見直し検討		現状維持	
07112000	道有林エゾシカ対策事業費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	見直し検討(指標関連)	見直し検討		現状維持	

施策名	エゾシカ森林被害対策の推進	施策コード	07 02
-----	---------------	-------	-------

Action 施策・事務事業評価

8 施策評価結果の反映（各部署等が実施）

（1）一次評価結果への主な対応

対応方針	主 な 対 応
	<p>< 新たな取組等 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施策目標の達成状況(目標達成に向けてさらなる取組が必要)、施策の緊急性・優先性(新たな課題等への対応が必要) 「北海道エゾシカ管理計画(第5期)」及び平成29年度「エゾシカ捕獲推進プラン」を策定する。 また、鳥獣保護区等、エゾシカの逃避地において、道自ら捕獲を実施する。 これらの取り組みにより、知事公約である、生息数の低減に向けた取組を促進する。 「エゾシカ指定管理捕獲等事業費」(新規) 「エゾシカ森林被害対策連絡会」等を活用し、国有林と民有林が連携して職員の森林被害対策に係る技術向上研修の実施や捕獲技術に関する試験研究機関との情報共有を図るとともに、複数市町村における広域かつ計画的な捕獲事業(エゾシカ森林被害防止強化対策事業費)に取り組むなど、効果的な森林被害対策を推進する。

（2）二次評価結果への主な対応

意見区分	主 な 対 応	意見区分	主 な 対 応
【施策目標の達成状況(目標達成に向けてさらなる取組が必要)、施策の緊急性・優先性(新たな課題等への対応が必要)】	<p>「北海道エゾシカ管理計画(第5期)」及び平成29年度「エゾシカ捕獲推進プラン」を策定する。</p> <p>また、鳥獣保護区等、エゾシカの逃避地において、道自ら捕獲を実施する。</p> <p>これらの取り組みにより、知事公約である、生息数の低減に向けた取組を促進する。</p> <p>「エゾシカ指定管理捕獲等事業費」(新規)</p>		

平成28年度 基本評価調書

施策名	エゾシカ森林被害対策の推進	施策コード	07	02
-----	---------------	-------	----	----

Action 施策・事務事業評価

9 事務事業評価結果（方向性）への対応状況（各部局等が実施）

（1）事務事業評価で示した方向性への対応状況

区分 \ 方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計
評価結果	3 事業	事業	事業	事業	事業	事業	事業	3 事業
反映結果	事業	1 事業	2 事業	事業	事業	事業	事業	3 事業

（2）次年度新たに実施する事業

次年度新規事業(予定)
事業